

2022-2023 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2610 TOYAMA CITY ROTARY CLUB

国際ロータリー第2610地区
富山シティーロータリークラブ
国際ロータリー/クラブ番号 31803
創立 1996.7.27 承認 1996.8.21

NO. 39号
令和5年6月26日発行



前回例会の記録

第1124回 通常例会

とき 令和5年6月19日(月)
ところ オークスカナルパークホテル富山2階
進行 SAA 齊藤好一さん

■ 出席報告〇数字は内Zoom出席人数、()は内サイン人数です。

当日	6/19(月)	37②(3)/75	49.33%
前回	6/12(月)	49(3)/75	65.33%



6月の
ロータリーレート
1\$=140円
5月は
136円でした。



- 開 会 点 鐘 高木会長
- ソ ン グ 齊 唱 我等の生業
- ゲ ス ト 紹 介 富美菊酒造(株)営業部長 羽根千鶴子様
- 会 長 挨 拶 高木会長
- 幹 事 報 告 鷺塚幹事
- 各 委 員 会 報 告 公共イメージ委員長「クラブホームページの改修について」
- 誕 生 日 御 祝 い 神田尚子さん(6/22)、稲田しのぶさん(6/23)、西野佳保里さん(6/24)
- 卓 話 「酒蔵とともに」富美菊酒造(株)営業部長 羽根千鶴子氏
- 閉 会 点 鐘 高木会長

ニコニコボックス

- 妻の誕生日祝いをいただいて。 神田 敏さん
 - 妻の誕生日祝いをいただいて。 西野晴仁さん
 - 携帯着信お詫び。 扇浦 学さん
- *ニコニコボックスへの拠金へご協力を、お願いいたします。
6月19日現在のニコニコボックス合計835,705円です。



本日の予定6月26日(月)

ところ:オークスカナルパークホテル富山2階
【通常例会】12:30~「東の間」
【卓話】退任挨拶
高木会長、鷺塚幹事、齊藤SAA
【会長・幹事バッジ交換】

次回の予定7月3日(月)

ところ:富山電気ビル4階
【新会員インフォメーション】11:30~「6号室」
【理事会】12:00~「7号室」
【通常例会】12:30~「光の間」
【卓話】新任挨拶
西野会長、五本幹事、浅木SAA

洋食ランチ

- ・県産豚ロース肉のポワレ
- ・ペルシャード風味
- ・赤ワインデミグラスソース
- ・南瓜のスープ
- ・サラダ ・パン
- ・抹茶のパンナコッタ小豆のシャ
- ・ンッティ、バニラアイス・コーヒー





「酒蔵とともに」

富美菊酒造㈱営業部長 羽根千鶴子氏

富美菊酒造は1916年に創業、現在4代目代表取締役 羽根敬喜が自ら製造責任者、杜氏となって醸しております。製造量のピークは昭和62年ごろでして、そのころは6000石、一升瓶換算にいたしますと60万本近くの規模がございましたが、殆どが県外へ出荷する紙パック酒がメインでした。このゾーンは価格競争の波に飲み込まれましたので、弊社の規模では大手蔵との価格競争に対抗できず、売れば売るほど赤字という状況でございました。そういった状況のなか、平成7年に敬喜が富美菊酒造に入社いたしました。敬喜が入社してまず行ったことは、長年ぬるま湯に浸かっていたような会社の体制を刷新するところからでした。日本酒が黙っていても売れていた時代を経験してきた社内は、製造も販売も惰性となっており、人事面で大変苦労したようです。新しい考え方についていけず、沢山の社員が会社を離れました。また、安価であるだけの商品ラインナップを見直し、付加価値の高い商品展開を目指しました。それまでメインであった紙パック酒を廃止、純米吟醸など特定名称酒をメインとする方針に切り替えました。しかし、お取引先様が私共の都合に合わせていただけるはずもなく、一気に得意先を失い、6000石あった石数は、一気に下降、高付加価値の商品で勝負するには高い壁を感じました。製造規模が急降下しておりましたのは当蔵のみならず全般的に言えた時代で、ビールやワイン、チューハイなど新ジャンルのアルコール飲料に日本酒のマーケットは押されていました。日本酒といえば宴会の罰ゲームに選ばれるという不名誉な飲み物、まず若い世代は選択しないアルコール飲料となっていました。しかし、全国新酒鑑評会など日本酒品評会に出品される日本酒など、実にフルーティーで素晴らしい味わいの日本酒が存在し、高品質な日本酒を醸造する技術を酒蔵は代々継承している。品評会だけで審査される日本酒だけでなく、一般流通する日本酒こそ、トップレベルの技術で本当によい物を造り、流通させる必要があるのではないかと。より多くの消費者の方々に日本酒の魅力を知っていただくためには、このことが非常に重要であるというふうに考えました。「すべての酒を大吟醸と同じだけの愛情と手間をかける」というモットーは、この流れの中で誕生いたしました。そういった中で立ち上げた新しいブランド「羽根屋」。変わらぬ味を守る地元銘柄の「富美菊」に対して、新しい日本酒の可能性を追求するチャレンジ的な銘柄として「羽根屋」ブランドを立ち上げました。このブランドの立ち上げは平成14年、ちなみに私が嫁ぎましたのはその二年前平成12年でございました。この方針、すべての酒を大吟醸並みの手間をかけて、最高のクオリティに仕上げようという理想、しかし、当時の製造責任者である杜氏や、蔵人たちに納得してもらうのは至難の業で、全ての酒を鑑評会の出品酒と同じだけの手間暇をかけて醸すということは、大変な労力を伴うため到底受け入れがたい要望でありました。彼らとの押し問答の繰り返しの末、敬喜はついに、自らが杜氏となって醸すことを決断いたします。平成22年のこととございました。人一倍不器用な敬喜、それまで杜氏としてのキャリアはゼロ。杜氏について共に造りについて学んでいたものの、昔ながらの杜氏は職人気質で、技術について伝承することを拒むことが多く、未知の部分が多い。そんな状態で、いきなり杜氏として造りに入って、ちゃんと日本酒になるのか？敬喜の一世一代の決断を前に、それまでは専業主婦だった私は蔵に入ることを決意し、蔵の様子をその当時流行していたブログで、造りの情報を発信することにいたしました。アメブロで綴っておりましたブログは今も見ることができます。毎日の投稿を行っておりました。敬喜が杜氏となって初めての造りで出来上がった日本酒。それは予想に大きく反していました。今まで歴代の杜氏が造った酒のどれよりも、いい酒として仕上がっていたのです。正直、本当に驚きました。技術も知識も未熟な敬喜が、天才的センスを持っていたとも思えません。私は、かねてよりよく耳にしていた日本酒というものには造り手の人柄が出る、という話を思い出さずにはいられませんでした。最高の設備、最高の原料、最高の人材を以て、最高の日本酒が出来上がるのであれば、資本力のある酒蔵に到底かなうことはない。しかし、おぼつかない設備と、僅かな蔵人だけで造る心揺さぶる日本酒というものは、世にたくさんあるではないか。ひたむきに、必死に日本酒と向き合う造り手の心が、日本酒に映し出される、それはもしかす

ると、日本酒は生きているからではないか。日本酒は微生物の発酵から織りなされるものであり、同じ生きるものとしての感性があるのかもしれませんが。畑違いのお話になりますが、以前趣味で薔薇をガーデニングで栽培していた時期があるのですが、不思議なことに、ティータイムなどにいつも眺めている個体は花もよく咲き、病気にもかかりにくく、あまり関心のない薔薇の個体は花付き悪く病気によくかかりました。同じように栽培しているにもかかわらずです。もしかしたら、そういった「気持ち」というものは、植物にも伝わるのかと、そうとしか考えられない現象でした。日本酒に関してもそのような気持ちの伝達というものがあるのかもしれませんが。日本酒醸造に携わって思いましたのは、膨大な手間をかけて誠実にひたすら積み重ねていく工程。本当によい日本酒造りの環境のために倦まず弛まず潔癖なほどに清潔を心掛け、一日として同じではない気候や状況を鑑みて、繊細な感性で微細に調整しながら醸していく過程。そして一番大切なのは、いい日本酒のために一番大切なチームワーク。この「和」の精神は、長い辛い醸造期間において皆で心をつにして協力し助け合わないと貫徹することが難しいし、いい日本酒に仕上げることも不可能となる。まさに、日本人の感性の凝縮したものが日本酒であると感じました。

美酒は蔵人たちの和と、仕事へのひたむきな誠実さ、豊かな自然の恵みと微生物たちの恩恵に感謝し、そこに寄り添って生きる繊細な感性から生み出される。まさに「日本のこころ」の美しいものが凝縮されて、時が止まっている。これほどまでに素晴らしいものが、まだこの国に残っていたのか、という、私にとり人生を変えられるほどの衝撃が日本酒のうちにございました。すぐ近くにあっても蔵に入らなければ一生知ることがなかったであろう世界。私は敬喜とともに、日本の文化である日本酒を、「にほんのこころ」の象徴として一人でも沢山のの方々にお伝えすることを生涯の使命とすることを決意いたしました。しかし方針を転換した蔵ですが先代の築いた負債が経営を圧迫、敬喜が杜氏に就任した平成22年からしばらく暗黒の時を過ごします。杜氏就任した平成22年は当蔵の製造石数は約300石（富美菊150石、羽根屋150石）。倒産寸前で、酒米を購入する資金もなく、親戚から借りて酒米を購入して醸造を行ったものの、その先の見通しは全くありませんでした。しかし、当蔵における酵母、仕込み水の相性を考えた醸造を試行錯誤ののち、フレッシュでフルーティーな生原酒の開発に成功、各種イベントや展示会で大きな手応えを感じ始めていました。「羽根屋」を沢山のの方々に認知いただける機会が増え、そこから羽根屋は倍増で伸びていきました。潰れそうな蔵を助けてくださった沢山のの方々のおかげです。辛うじて首の皮一枚つながらる感じでした。あの時、あの人とあの場所ですれ違っていなかったら、そういう奇跡のような連続もありました。そんな中、次に何が起こったかという、決定的な欠品でした。品薄状態が続くなか、長らくお待ちいただいた全特約店様に出荷が終了して、特約店様も久しぶりの再入荷でほっとしたのも束の間、気が付いたら4月にほぼ全ての在庫がなくなっていたという…これは大変なことになってしまった、蔵の造りはすべて終了し、次の商品までは冬までお待ちください…などとは、とてもではないが期間が空きすぎる。私たちは、品切れをただ早めるために、今まで応援くださった特約店様に大変なご迷惑をおかけするために頑張っていたのだろうか？そう思った時、「四季醸造」という選択肢しか私たちに残っていませんでした。（四季醸造開始 平成24年）しかしその年は東日本大震災の影響により放射能の問題等により酒米が不足しており、通常オフシーズンでも余剰在庫品を購入できたものなのですが、四方八方手を尽くしても一俵も手に入らないという状況でした。そんな中、昔からお付き合いのある酒蔵様が、来期の造りのために確保されていた貴重な酒米をお譲りいただき、丁度タンクー一本分、夏の醸造分として蔵入りした酒米。奇跡のように私たちのところにやってきた酒米。夏醸造はもちろん何の経験もノウハウもなく、真夏に経験もないのに日本酒を醸造する不安はとてつもなかったのですが、これは、やりなさい、と背中を押していただいているのだなと感じ、とにかくやってみよう、失敗するかもしれないけれども、失敗したらまたそこから修正改善して、またチャレンジすればいいじゃないか、とにかくやろう、何としても、そう決意し、真夏の造りのために設備を冷蔵庫に格納し、初めての夏の醸造が始まりました。真夏の醸造を行うにあたり、四季醸造を行っていらっしゃる山口県の旭酒造様、等、数社を見学させていただき設備を見学しながら夏の造りにおける留意点などご指導いただきました。富山に戻り実際に造りを行ってみますと、山口県と富山での気候の違い、突貫で始めた真夏の造り故、メンテナンスが充分であったとは言い難い冷蔵設備のトラブル等も重なり最初の一本目は酒にならないかもしれないというトラブルに見舞われました。「早沸き」という現象でした。温度コントロールが十分でなかったこと、そして季節が夏であることが影響しているように思われました。夏醸造を行う前、何人もの方がアドバイスしてくださるお言葉がありました。「酵母は、微生物は、季節がわかる。だから夏の醸造は甘くみないほうがいいよ。」…まさか微生物が…？季節がわかるはずがない。冬と同じ環境を人工的に作りだせば、冬と同じように造

れるはずだ。そんなふうに思っていました。しかし、実際に夏醸造を行うと、確かに、微生物たちは季節が分かっているのかもしれない？と思えることが多々ありました。冬と違い、酵母は非常に活発で、醪が走りやすい。（早く発酵が進みすぎる）今まで私たちは日本酒を造っているつもりになっていただけで、日本酒醸造における主役は人間ではなく、実は微生物たちだったと認識を新たにしました。四季醸造を行う中で二十四節気の変わり目ごとによって変わる虫たちの動き、水の冷たさ。四季とともに自然に寄り添って生きる先人の知恵が、夏醸造を行うことで身近に感じられるようになりました。この国で生き、この国の自然と四季に生かされて、育まれる日本酒。折しも夏醸造を急遽始めるにあたって、蔵人の募集は間に合うはずもなく、冬季の醸造スタッフは、夏は別の仕事に従事していることもあり、日本酒の造り手としてど素人に近い私が、メインの戦力として投入されることとなりました。それまでは造りは時々手伝うことはあっても、足手まといになったり、周りの蔵人への遠慮もあって、あくまでも臨時のヘルプに過ぎませんでした。他に蔵人がいないとなると、フルで造りに参加しなくてはなりません。しかも、真夏の造りです！蒸しあがったばかりの蒸気ももうもうと立ち上る甑で、蒸米を掘り起こし、放冷し、また布にくるんで担いでタンクに…。これが重い重い。作業場は真夏の暑さ、醸造タンクがあるのは冷蔵庫…この繰り返りに自律神経は狂い、眩暈や吐き気、脱毛に悩まされました。そして一連の作業は、恥ずかしくて半そでが着られなくなるほど、私の身体を筋肉でムキムキにしました！しかし、じっくりと日本酒と向き合ったあの日々は、私にとって一生の宝物といえる時間です。こういったチャレンジにはトラブルはつきもので、記念すべき最初の一本目を搾る際、よりによって搾り機のトラブル、徹夜で調整することに…。そんな感じでしたので、夏醸造の1年目はクオリティ的には満足できるものではなく、夏は酵母が活性して発酵が早く進みがちなため、味わいが薄っぺらく、香りや余韻が出にくい、このまま品質に納得がいかないようであれば夏の醸造は断念すべきか悩みました。悩みながら造った2年目の夏醸造一本目。前年の経験を踏まえ独自の工夫を重ねた結果冬醸造を超えるクオリティのものが出来上がり、ご心配いただいていた特約店様にも太鼓判をいただき、これからも夏醸造を続けていいよ、と背中を押してもらえたように感じました。おかげさまで現在の醸造、出荷量は伸び、四季醸造を開始して4倍近くとなり何とか1200石の規模まで持てこられることが出来ました。純米吟醸以上の特定名称酒をメインとした高付加価値をメインの販売商品とすることにも成功し、収益性を高め経営的にも改革に成功し今に至る訳でございます。日本酒醸造は微生物や気候相手の常に一定でない条件下で過酷な肉体労働ですが、魂に響くこの仕事に出会うことができ、本当に幸せであると身に沁みて思うように、沢山の若い人たちも同じように感じるのではないかと。そう思い、私たちからバトンを受け次世代につなぐ若いスタッフの募集も始めました。今、続々とこの指にとまる若者たちが、いずれこの国の誇れる文化である日本酒を通して、国内外の方々に、美しい「にほんのこころ」を伝えてくれることを願って止みません。ここまで私たちが来るまでに、酒販店様、飲食店様、消費者のお客様、生産者様、同業者様、納入業者様、金融機関様、そしてロータリークラブの皆様。沢山の皆様、心からの応援と、間接的、そして直接的に助けていただきました。温かい援助をいただければ、とっくにこの蔵はなくなっていたはずですが。私たちがこの地域に、日本酒の酒蔵として残るチャンスを与えていただいた意味を考え続け、この日本酒業界、そして地域の発展のために微力ながら貢献させていただけるよう、使命としていきたいと思っています。



想いを込めた一滴。

世界最大規模
最高権威を評価される品評会
IWCにて
GOLD MEDALを受賞

富美菊
羽根屋

富美菊酒造株式会社
富山県富山市百塚134-3
TEL. 076-441-9594
代表取締役 羽根 敬喜

全てのお酒を大吟醸と同じように醸す…
手間暇を惜しまない作業が氣の遠くなるように重なる。
だから、一度に多くの量を醸すことはできません。
本当に旨い酒だけをお届けするために、出来ることの全てを。
蔵元氏が心を込めて醸す酒。

現新クラブアッセンブリー

- と き：令和5年6月19日（月）例会終了後～
- と ころ：オークスカナルパークホテル富山4階「翠鳳の間」
- 参加者：現新 理事役員、各委員長 22名



富山シティーロータリークラブ ホームページに会員募集が追加されました。

会員募集中！女性会員も大歓迎です。

当クラブは1996年に誕生した若いロータリークラブです。
会員は昭和20年生まれから昭和54年生まれまでの75人。仕事を通じて社会に奉仕するというロータリークラブの理念に沿って、世界でボリ才絶、留学生の支援、タイ農村部の学校へ浄水機の寄贈など幅広く活動しています。
また、会員間の親睦を目的としたワイン、茶道、美術、スキー、ゴルフ、釣りなどの趣味のサークル活動も盛んです。年長者でも気さくな会員が多く、フレンドリーな雰囲気な富山シティーロータリークラブへ入会をお待ちしています。

富山シティーロータリークラブ
TOYAMA CITY ROTARY CLUB

国際ロータリー第2610地区
創立1996.7.21 承認1996.8.21

トップ | ロータリーとは | 4つのテスト | 例会記録(週報) | 年間行事予定
会員一覧 | 組織図 | リンク | 一口メモ | ガバナーマンスリー

新着情報

- 年報行事予定更新(2022/7/1)
- 会員名簿更新(2022/7/1)
- 組織図更新(2022/7/1)
- 会長・幹事 就任の挨拶

ご案内

- ◆6月19日(月)…通常例会
【申請】富美菊酒造例営業部長 羽根千鶴子氏
- ◆6月19日(月)…現新クラブアッセンブリー
- ◆6月26日(月)…通常例会
会長、幹事、SAA退任挨拶
- ◆6月30日(金)…ゴルフクラブ ゴルフコンペ
- ◆7月3日(月)…新会員インフォメーション11:30～
稲京ビル4階6号室
- ◆7月3日(月)…理事役員会議12:00～
稲京ビル4階6号室
- ◆6月21日(水)…フックアップ会15:30～18:30
- ◆6月26日(月)…ANAホテル 15:30～19:30

こちらを
クリック

定例会について



毎週月曜12時45分からオークスカナルパークホテルで例会が開催されています。
定例会は様々な業種の方からお話を聞きしたり、食事をしながら会員同士が交流したり、クラブ会員の情報交換や意見交換の場となっています。

その他の活動について

当クラブでは非営利の趣に様々な活動を行っています。世界共通の活動を行っているほか、地域や海外への支援、交換留学生の支援、ワインやスキーなどの趣味サークルと幅広く活動しております。



釣り愛好会



ワイン愛好会



ペルギーからの交換留学生支援



タイでのボランティア活動



美術倶楽部での茶事



経営者同好会



アメリカからの交換留学生も交えてのスキー



クリスマス義演賛助会

国際ロータリー第2610地区

ロータリークラブ

会長・幹事 各位

ガバナーエレクト 原 勉
地区公共イメージ委員長 角谷 健司

新しいホームページ URL : <https://rotary2610.gr.jp/>

国際ロータリー第2610地区ホームページリニューアルのお知らせ

平素より国際ロータリー第2610地区ホームページをご利用いただき、誠にありがとうございます。
この度、当地区ホームページのリニューアルを行い、2023年7月1日（土）をもちまして、新しいホームページに切り替えることとなりましたのでご案内申し上げます。
リニューアル後のホームページは、既存のURLが変更されますので、ご利用いただく際には以下の新しいURLをご確認ください。

今後も、より一層便利で充実した情報を提供できるよう、サイトの運営・管理に努めてまいります。
なお、現在ご利用いただいているURLは、2023年6月30日をもって閉鎖いたします。お手数をおかけいたしますが、お気に入りやブックマークなどの登録をされている方は、新しいURLへの変更をお願いいたします。

ホームページリニューアルに伴うご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

富山シティロータリークラブ スケジュール

6

2023 月 June

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 通常例会 (2階東の間) 【理事会】12:00~「桜の間」 【次年度理事会】12:15頃~ 【卓話】国際青少年交換学生 ザイラ バルデス氏	6 カナル パーク みらい	7 8 電気ビル 富山西	8 富山第2G 現新会長 幹事会議	9 親睦活動 委員会	10
11	12 夜間例会 年度末懇親会 18:30~ オークスカナルパークホテル富山 2階「西中の間」	13 電気ビル 富山	14	15 電気ビル 富山西	16 電気ビル 富山南	17
18	19 通常例会 (2階東の間) 【卓話】「酒蔵とともに」 富美菊酒造(株)営業部長 羽根千鶴子氏 【現新クラブアッセンブリー】 例会終了後~ 4階「翠鳳の間」	20	21 グラン テラス 富山中	22	23	24
25	26 通常例会 (2階東の間) 【卓話】 退任挨拶 高木会長、鷲塚幹事、斉藤 SAA 【会長・幹事バッジ交換】	27	28	29	30 シティ ゴルフ コンペ	

6月の サインメイクアップ

- 6日(火)カナルパーク
富山みらいRC
サイン時間 9:30~13:30
- 8日(木)電気ビル
富山西RC
サイン時間 9:30~13:30
- 13日(火)電気ビル
富山RC
サイン時間 9:30~13:30
- 15日(木)電気ビル
富山西RC
サイン時間 9:30~13:30
- 16日(金)電気ビル
富山南RC
サイン時間 9:30~13:30
- 21日(水)グランテラス
富山中RC
サイン時間 9:30~13:30
- 26日(月)AMAホテル
富山大手町RC
サイン時間 15:30~19:30



7

2023 月 July

日	月	火	水	木	金	土
						1 国際青 少年交 換委 員長 会議
2	3 通常例会 (富山電気ビル4階光の間) 【新会員研修】11:30~「6号室」 【理事会】12:00~「7号室」 【卓話】新任挨拶 西野会長、五本幹事、浅木 SAA	4 カナル パーク みらい	5	6	7	8
9	10 通常例会 (2階東の間) 【会員卓話】(株)稲田印刷 代表取締役 稲田礼司氏	11 歴代会 長 会議	12	13	14	15
16	17 法定休日「海の日」 例会はございません。	18 カナル パーク みらい	19	20	21	22
23	24 夜間例会 創立記念懇親会 18:30~ オークスカナルパークホテル富山 2階「東の間」	25	26 富山第2G 会長幹 事 会議	27 電気ビル 富山西	28 電気ビル 富山南	29
30	31 クラブ指定休日 例会はございません。					

7月の サインメイクアップ

- 4日(火)カナルパーク
富山みらいRC
サイン時間 9:30~13:30
- 18日(火)カナルパーク
富山みらいRC
サイン時間 9:30~13:30
- 27日(木)電気ビル
富山西RC
サイン時間 9:30~13:30
- 28日(金)電気ビル
富山南RC
サイン時間 9:30~13:30

